

中学生学力アップ教室・北部地区

熊谷市・くまなびスクール

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●市内全ての中学生に参加を呼びかけ、参加を希望した生徒を対象に、5月～翌2月で週1回程度（1回2時間）学習支援を実施している。 ●実施場所は市内の中学校（16校）を会場に年間30回以内で実施した。 ●教員OBや教員免許状所有者、学生等の有償ボランティアによる、生徒一人一人に対するきめ細かな指導を通して、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図った。 ●学習形態は国語、数学、英語を中心とした自学自習形式で、一部講義形式も取り入れた。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●会場を各中学校に設置することで生徒が通いやすい環境を実現した。また、実施日については各中学校が設定することにより、学校の実情に応じた運営ができた。 ●学習支援員を市報で募集したり、近隣の大学に出向き説明会を開催し募集した。 ●学習支援員を有償ボランティアにした。 ●学習支援員（教員OBなど）との連絡調整を密に図り、一人一人の状況や成果、課題を共有した。 ●市内の全生徒に配付してある「熊谷市学力向上テキスト」（熊谷市教育委員会作成）を教材として活用した。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●参加する生徒は、学習に不安のある生徒や経済的な理由で塾に通えない生徒等に限定をかけずに、市内全ての中学生に参加を呼びかけた。その結果、学習の機会を保障し、個に応じたきめ細かな指導を行うことができた。 ●学習支援員と連絡調整を密にとることにより、生徒一人一人のさらなる実態把握に繋がった。 ●参加生徒の感想として以下のようなものがある。 「くまなびスクールのおかげで学習意欲が高まり学習時間が増えた。」、「集中して勉強している仲間がいるから、自分もがんばろうという気持ちで取り組める。」 「先生たちから話しかけてくれてうれしかった。くまなびスクールを通して、自分のペースで勉強すめることができた。友達と一緒にだからやりやすかった。」

熊谷市基本情報

中学校数	16校	実施教室数	16教室
対象学校	16校	対象学年	1～3学年
平均開催日数	23日	参加人数 (1日平均)	11人
活動場所	各中学校教室	コーディネーター数	16人
ボランティア数	52人	ボランティアの属性	教員OB、教員免許状所有者、大学生



〔学習の様子〕



〔学力向上テキスト〕

中学生学力アップ教室・北部地区

秩父市 チチブ・アフターナイトスクール～夜勉～	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●市内中学1～3年生を対象に10月～12月で全6回実施した。今年度も英語の学力向上に向けて、学習支援を行った。 ●英検の級を基準に習熟度に応じて2つの教室に分けて実施した。 ●学習内容は、コーディネーターが作成したプリントの問題や市販のテキストを使用し、授業形式で実施した。1回の講座時間は1時間30分（18時30分～20時）とした。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●夜間実施のため、開催場所は十分な駐車場のある市役所の敷地内の施設を利用し、保護者の送迎に配慮した。 ●事前に参加者の保護者の電話番号を登録していただき、欠席時や緊急時の連絡について整備を行った。 ●コーディネーターとの連絡調整を密に図り、各回の講座の成果や、課題を共有した。 ●地域の人材を学習支援員として募集し、児童生徒の学習支援に協力していただいた。 ●6回の講座終了後、希望者には同施設を準会場に英語検定を実施した。学習の成果を実感できるよう、講座と検定を一連の事業として実施した。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●学習支援員を十分に配置できたので、一人一人にきめ細やかな支援ができた。 ●参加生徒の意識調査から、「講座はわかりやすかった」「この活動を通して、これからの英語学習にやる気や目標を持つことができた」との回答が共に約98%と高い水準となった。 ●参加生徒の感想として以下のようなものがある。 「目標を決めてそこに向かって努力する、勉強する習慣をつける大切さを改めて実感することができました。」 「支援員の方たちや先生のご指導でとても力がついたと感じています。」 「学校で習った内容を復習することができたり、復習をする習慣をつけたりすることができてよかったです。」

秩父市基本情報			
中学校数	8校	実施教室数	2教室
対象学校	8校	対象学年	1～3学年
平均開催日数	6日	参加人数 (1日平均)	24人
活動場所	公共施設	コーディネーター数	2人
ボランティア数	40人	ボランティアの属性	教職員OB 高校生 一般市民



〔5級教室〕



〔4級教室〕

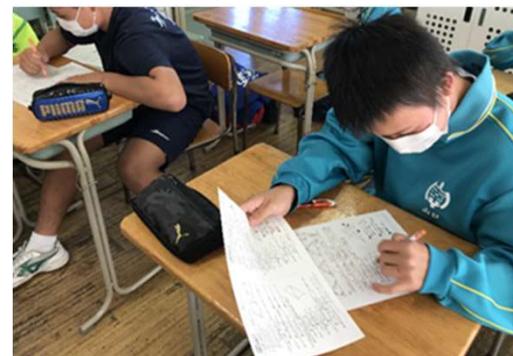
中学生学カアップ教室・北部地区

深谷市・ステップアップレッスン

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●学習に対して不安を持っている生徒や、更に自分の力を伸ばしていきたいと思っている生徒を対象に、国語・数学・英語・理科・社会について補習学習を実施した。特に、基礎的・基本的な学習内容の定着に重点を置き、プリント学習を中心としながら実施した。 ●週に2回、学校の実態に応じ曜日や時間を設定して実施した。また、夏休み、冬休み等の長期休業中も実施した。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●実施計画や学習内容は担当教員、中学校学習支援員とが連携して計画した。学校によっては、実施日を対象学年や学習内容に合わせて設定し、実施した。 ●一人一人の課題に応じた指導を心掛け学習支援や指導に努めた。また、3年生の受講者に対しては、高校入試も見据えて、入試までの残り期間に応じて学習内容を工夫して実施した。 ●間違えたところや分からないところを解決し、理解することができるように、一人一人の理解の実態にあわせて学習を進めた。 ●各学年の授業の進度に合わせて学習内容を工夫し、授業の復習や次時の授業に生かせるようにした。 ●毎回学習プリントを用意し、その問題を解き、解答をもとに自己採点させ、誤り等を確認し、指導者に質問したり、相互に教えあいをしたり、理解を深めるようにした。 ●3年生は、冊子にした問題集や各自が用意した教材・課題をもとに自主学習に取り組むこともあった。2学期後半からは公立高校入試に向けた学習を中心に進めた。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●ステップアップレッスンを通じて、一人一人の基礎学力の定着と学ぶ意欲の向上が成果として現れた。 ●参加している生徒は、学習に対して積極的に取り組めた。 ●繰り返し学習が成果を上げている。 ●事業のまとめにおける生徒アンケートよりステップアップレッスンに参加したことについて、「とても良かった」「良かった」と答えた生徒の割合は、92.4%と、充実感を得ている。

深谷市基本情報

中学校数	10校	実施教室数	10教室
対象学校	10校	対象学年	全学年
平均開催日数	90日	参加人数 (1日平均)	18人
活動場所	各中学校教室	コーディネーター数	10人
ボランティア数	10人	ボランティアの属性	教員OB 教員免許取得者 大学生



〔自己採点をしている生徒〕



〔中学校学習支援員と学習を進めている様子〕

中学生学力アップ教室・南部地区

志木市・ベーシックサポート事業

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●中学生の基礎学力定着を図るために、夏季休業日及び放課後を利用して、希望する生徒に対して、数学、英語を中心に学習支援を行う。 ●義務教育9か年の最終学年にあたる中学3年生には、秋季に学習支援を行うことで、生徒一人ひとりの希望する進路に応じた必要な学力を育み、夢の実現を応援する。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●中学生が学習の相談をしやすいことに加えて、“憧れの先輩”の姿から高校生活への期待を抱き、将来の進路決定に生かせるようにするため、中学生と年齢の近い高校生を学習支援員とした。 ●キャリア教育の推進のため、中学校と上級学校との連携を図った。 ●個別最適な学びの観点から、1人1台タブレット端末の使用を認めた。 ●生徒の募集や日程調整は市教育委員会と学校が連携して取り組んだ。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●参加生徒への意識調査 「学習意欲は向上しましたか。」という質問に対して85%の生徒が「大変当てはまる」、「当てはまる」と回答し、「学習内容の理解は深まりましたか。」という質問に対して96%の生徒が「大変当てはまる」、「当てはまる」と回答し、高い水準となった。 ●参加生徒の感想 <ul style="list-style-type: none"> ・難しい問題も分かるまで教えてもらったので、とても助かりました。丁寧に教えてもらったのでとても楽しかったです。来年もあれば、また参加したいです。 ・いつもと違う環境で勉強するとリフレッシュしながら勉強でき、教えてくれる人が高校生で年が近いから気軽に質問ができて良かったです。

志木市基本情報

中学校数	4校	実施教室数	夏 12教室 秋 4教室
対象学校	4校	対象学年	夏 1～3学年 秋 3学年
平均開催日数	夏 3日/1校 秋 4日/1校	参加人数 (1日平均)	夏 48人/1校 秋 27人/1校
活動場所	各中学校教室	コーディネーター数	1人
ボランティア数	50人	ボランティアの属性	高校生



〔学習の様子〕



〔個別指導の様子〕

中学生学力アップ教室・東部地区

久喜市・「くき本樹塾」

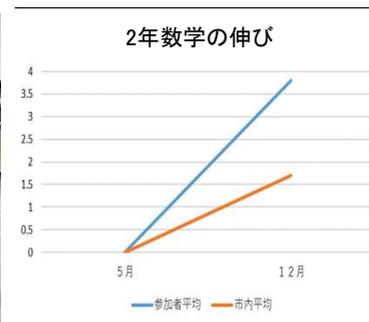
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の全中学校を対象とし、5月中旬から2月にかけて、週1回、2時間程度を目安に、各中学校の教室で国語・社会・数学・理科・英語の問題集やコーディネーターの自作ワークシート、タブレット端末を活用し、個別の学習支援を実施した。 ●自主学習を主な活動にしているが、生徒の様子によって、コーディネーターの判断で一斉指導等も適宜実施した。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●各学校に専属のコーディネーターと指導員を配置したことで、支援員と生徒、学校と支援員、支援員同士の信頼関係が構築された。これにより支援員が生徒一人一人の実態に合った学習支援を行えるとともに、学校と情報共有が積極的に図られ、中間・期末テストの範囲を把握した上で効果的な支援に当たることができた。 ●実施する曜日や時間を学校ごとに固定しているため、定期的な開催となり、生徒の学習習慣の定着が図られた。 ●多くの学校では、教員に連携・協力いただき、学習支援員をサポートする取組を実施した。この取組を通じて、生徒への支援が充実するとともに、教員にとっては本樹塾の活動状況や生徒の様子を把握することができ、日頃の授業での指導等につなげることができた。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●参加生徒の意識調査から、本事業に参加したことで、学習内容を理解することができたという回答した生徒の割合が約96.5%（12月現在）と高い水準であった。 ●埼玉県学力・学習状況調査と同様の性質をもつ、久喜市独自の学力調査「久喜市ステップアップテスト（KST）」の結果において、本事業参加生徒は市内平均と比較して、中1は0.5レベル、中2は1.8レベル、中3は0.6レベル学力の伸びが大きかった。 ●参加生徒の感想として以下のようなものがあった。 <ul style="list-style-type: none"> ・「分からなかった問題も、教わったやり方で考えてみると、スラスラ解けたのでうれしかったです。」 ・「久々に勉強できたという気持ちになった。」 ・「テストの間違いを直して、理解できた。」

久喜市基本情報

中学校数	10校	実施教室数	10教室
対象学校	10校	対象学年	1～3学年
平均開催日数	30日	参加人数 (1日平均)	29人
活動場所	各中学校教室	コーディネーター数	8人
ボランティア数	38人	ボランティアの属性	元教員 教員免許保有者 大学生



〔学習の様子〕
学習支援員によるきめ細やかな個別指導により、学習意欲や学力の向上につながっている。



〔学力の伸び〕
久喜市独自のテストにおいて各教科で伸びが見られ、苦手分野も改善に向かっている。

勉強は分かるようになりましたか



〔生徒意識調査〕
96%以上の生徒が「分かるようになった」と回答している。

中学生学カアップ教室・南部地区

北本市・ナイトスクール

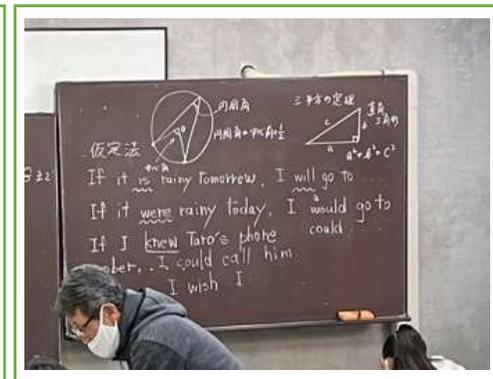
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●市内全ての中学3年生の希望者を対象とし、北本市文化センター及び東部公民館を会場に6月から2月にかけて土曜日に実施した。 ●学習時間は2時間程度で、英語、数学の基礎的・基本的な内容を中心として学習支援を行った。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●申込時に市教育委員会から保護者へ直接説明する機会を設け、学習内容や安全面に関する確認等を行った。 ●生徒が参加しやすい環境を整え、安全に通えるようにするため、開催場所を市内東西の2か所設定し、開始時刻を15時からとした。 ●基礎・基本の定着を図るため、県作成の「学力向上ワークシート」や入試対策の問題集を活用した。 ●個に応じた支援の充実のため、学習支援員を複数配置した。 ●コーディネーター及び学習支援員が毎回打合せを実施し、学習内容の確認や参加生徒の学習状況等について情報共有を行った。 ●定期考査前の時期については、個別の質問等を受け付ける時間などを設け、生徒の学習支援を行った。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●コーディネーター及び学習支援員が密に連携を図ることで、参加生徒に対して個に応じたきめ細かな学習支援を行うことができた。 ●参加生徒の意識調査から「学習内容を理解することができた」と回答した生徒が約85%、「参加してよかった」と回答した生徒が約70%の満足度であった。参加してよかった理由としては、「分からない所を人に聞く環境があってよかった」や「先生が一人一人に話しかけてくれて接しやすかった」等があった。 ●参加生徒の感想としては以下のようなものがあった。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習の習慣ができ、定期テストでは、英語・数学以外の教科も20点近く上がり、良かった。 ・定期テストや模試等に基礎を固めた状態で臨めた。 ・集中して学習できるようになり勉強時間が増えたので、解けなかった問題が解けるようになった。

北本市基本情報

中学校数	4校	実施教室数	2教室
対象学校	4校	対象学年	3学年
平均開催日数	15日	参加人数 (1日平均)	21人
活動場所	北本市文化センター 北本市東部公民館	コーディネーター数	2人
ボランティア数	10人	ボランティアの属性	教員OB 地域住民



〔 個別指導の様子 〕



〔講師による解法解説の板書〕

中学生学力アップ教室・西部地区

毛呂山町・サマースクール

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内中学1～2年生を対象に部活のない木曜日、年間15日間と夏休み期間中に5日間の学習支援を実施。 ● 実施場所は町内2中学校で学校ごとに設置し、地元大学生などの協力を得て実施している。 ● 動画学習教材やテキストを活用して自主学習につながる勉強方法を教えている。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 生徒が通いやすい環境を実現するため、開催場所は各校に設置した。 ● 保護者あてに案内メールを送信して、オンライン申請により申し込みを行うことで事務の効率化を図った。 ● 各実施会場と教育委員会をオンラインでつなぎ、出欠席の確認や事務連絡などを行った。 ● 英語については、参加者が楽しく英語を使ってコミュニケーションできるようなプログラムを大学生に考案してもらい、大学生がフォローしながらも英語での謎解きや自分のことを英語で話す充実した授業が実施できた。 ● YouTubeの学習動画を活用することで、学力アップ教室だけではなく、自宅においても自分で学習が進められるよう工夫した。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加生徒のアンケートから、「とても役に立った」、「どちらかという役に立った」という前向きな回答が93%と高い水準となった。 ● 大学生を配置したことで、生徒から自分がわからないところが、聞きやすくて、できないところができるようになったという意見があった。 ● 学力アップ教室に参加した生徒の感想として、「自分のペースで学習できた」「他の教科も勉強するきっかけとなった」「勉強に集中できた」「勉強法がわかった」など参加したことで、学力向上につながるきっかけとなっている。 ● 家庭学習の促進を図るため勉強のやり方を教えることに重点を置いて実施した。参加生徒のアンケートの結果、家でも勉強できるようになったとの回答が55%あった。

毛呂山町基本情報

中学校数	2校	実施教室数	2教室
対象学校	2校	対象学年	1～2学年
平均開催日数	20日	参加人数 (1日平均)	20人/1学校
活動場所	各中学校教室	コーディネーター数	2人
ボランティア数	19人	ボランティアの属性	大学生



〔YouTubeを活用した学習〕



〔学習風景〕

中学生学カアップ教室・西部地区

越生町・学カアップ教室

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト前（各2日間）、夏季休業日（1・2年3日間、3年5日間）に開催し、学力向上を図った。 ●「コバトンタイム」では、県教委作成の「コバトン問題集」や「復習シート」を活用して、指導を行った。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●「コバトン問題集」に取り組む時間「コバトンタイム」を設定した。各学年で県学調の分析結果をもとに、「国・数・英」の中から内容を決めて取り組んだ。 ●コバトンタイムでは、自力解決後、グループでの教え合い・学び合いを行い、学習が苦手な生徒の学力向上を図った。 ●数学の基礎学力の向上を目指し、年間3回「計算カアップ大会」を実施した。 ●学級に入れない生徒に対して、リモートでの授業を行い、併せて支援員による学習指導も行った。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト前に補充学習を実施することで、学習内容の復習と定着に役立てることができた。 ●「第2回計算カアップ大会」で合格率が令和4年度と比べて、1年生は4.7ポイント、2年生は1.2ポイント上昇し、基礎学力の向上が見られた。 ●参加した生徒からの感想として以下のようなものが挙げられた。 「コバトンタイムで、グループでの教え合いがあり、友達から教えてもらってよくわかった。」 「コバトン問題集は、いつもの問題と違う形で、解くのが楽しかった。」

越生町基本情報

中学校数	1校	実施教室数	1教室
対象学校	1校	対象学年	1～3学年
平均開催日数	9日	参加人数 (1日平均)	20人
活動場所	中学校教室	コーディネーター数	1人
ボランティア数	2人	ボランティアの属性	教員免許保有者等



〔コバトンタイム〕



〔グループでの教え合い〕

中学生学カアップ教室・北部地区

長瀬町・チャレンジ土曜セミナー

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●町内中学3年生を対象に11月から2月までの土曜日に10回、各回2時間程度学習支援を実施した。 ●実施場所は、中学校近くの中央公民館とした。 ●学習する内容は、基礎的な内容を中心としたテキストを使用し、基礎問題（数学・英語）を学んだ。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●開催場所を中学校近くの中央公民館とすることで、生徒が自力で通室できる環境を実現した。 ●全体指導で基礎的な内容の確認を行い、指導者2名が机間指導を行うことで、個別に質問できる時間を設けた。 ●指導者は、入退室時や休憩中に生徒と簡単な英語でのコミュニケーションをとるなど、学習時間以外においても積極的に交流を図った。 ●指導者は、反復学習の重要性を指導し、学習への意識改善を図った。 ●基礎問題を重点的に学ぶことで、一人一人の基礎的な内容の理解を深め、自力で回答を導き出す達成感を体験することにより、学習への苦手意識を軽減するきっかけづくりとなるよう努めた。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●学習に苦手意識のある生徒を対象としていたが、回数が進むにつれ、生徒が挙手をし積極的に質問をする場面が増え、学習意欲の向上がみられた。 ●全体指導で自己の課題を把握し、個別指導で解決に向けた支援を行うことで、一人ひとりの習熟度に合わせた指導ができた。 ●参加生徒の感想として以下のようなものがある。 「個別で教えてくれるので、とても分かりやすかった」 「解けなかった問題ができるようになって、自分でもできるんだと自信がついた」「わかるところが増え、勉強が楽しくなった」 ●学カアップ教室参加後の校内テストでは、参加生徒の点数が平均して2.5点、受講前に比べ上昇した。

長瀬町基本情報

中学校数	1校	実施教室数	1教室
対象学校	1校	対象学年	3学年
平均開催日数	10日	参加人数 (1日平均)	8人
活動場所	中央公民館	コーディネーター数	1人
ボランティア数	2人	ボランティアの属性	外部講師



〔全体指導の様子〕



〔個別指導の様子〕

中学生学カアップ教室・北部地区

小鹿野町・中学生未来塾

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 中学1年生から3年生を対象とし、年間14回土曜日の午前中に、民間の外部講師や教員OBにより、英語、国語、数学の学習講座を実施している。 ● 1クラスを少人数で編成して、きめ細やかな学習指導を行っている。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語、国語、数学の3教科とも、それぞれ学年ごとに①基礎・基本コース②応用・発展コースの2コースに分かれて実施している。参加人数の多い1学年の数学は、基礎・基本コースを3クラスに分けて実施している。生徒個々の学習進度に合わせて、少人数できめ細やかな指導を行っている。(習熟度別指導) ● 地元の講師や教員OBにも協力を頂き、地域の力を活用した地域と一体となった教育活動の支援を行っている。 ● 地元の小鹿野高校との連携を図り、数学への興味・関心を一層高めるために、高校数学科の教師による数学特別講座を年2回実施している。 ● 遠距離の生徒も参加できるように、開催日にはスクールバスを運行し送迎している。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加生徒のアンケート調査では、「参加してよかった87%」「学習内容がわかりやすかった96%」「楽しく学べた88%」であり、概ね良い結果が得られた。 ● 本事業に参加して役立った点として、「苦手教科の克服」「家庭学習」「学校の授業がわかりやすくなった」等が挙げられた。 ● 数学特別講座の感想には、「高校の問題に挑戦できて嬉しかった」「面白くわかりやすかった」「地元の高校への興味が湧いた」等があり、数学の面白さを感じ取ったり、地元高校への関心が高まったりした様子が伺えた。 ● 受講生71名のうち34名が英検、漢検に挑戦した。今年度の合格率は英検54.5%、漢検58.3%であった。 ● この事業をとおして、生徒の学習習慣の確立に向けて地域全体で支援するきっかけづくりになっている。 ● 保護者の感想として、以下のようなものがある。「スクールバスの送迎は助かる」「土曜日に学習環境を設けてもらい有難い」「来年度も参加させたい」

小鹿野町基本情報

中学校数	1校	実施教室数	7教室
対象学校	1校	対象学年	1～3学年
平均開催日数	14日	参加人数(1日平均)	50人
活動場所	小鹿野文化センター	コーディネーター数	1人
ボランティア数	11人	ボランティアの属性	外部講師 教員OB



【中学生未来塾開講式の様子】



【1学年数学特別講座の様子】

中学生学力アップ教室・北部地区

神川町・中学生学力アップ教室

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内中学3年生を対象に9月～2月で水・金曜日の週2回の学習支援を実施している。 ● 場所は町内公共施設（就業改善センター）で実施した。 ● 学習する内容は、生徒が自ら持参し、自習形式で実施。一人1台タブレットを活用した学習や学校の授業で使用しているワークなどに取り組んでいる。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 開催場所を町の中心にある公共施設に設置することで生徒が通いやすいように配慮した。 ● 事前に参加者の保護者が連絡アプリ（マチコミメール）に登録し、緊急時の連絡体制の整備を行った。 ● 学習支援員（教員OB）との連絡調整を密に図り、一人一人の状況や成果、課題を共有した。また、近隣の大学とも連携し、教員志望の大学生を学習支援員として活用した。 ● 座席の間隔を十分にとるなど、参加者が集中して取り組める環境整備を行った。 ● 不登校の生徒も安心して教室に参加できるよう、学習の様子や指導者についての写真を入れた案内チラシを個別に家庭に配布した。 ● 指導者と連携できるよう、教育委員会の指導主事も教室の様子を週に1回以上は訪問し、指導者との教室運営について協議した。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加生徒のアンケート調査から、「参加してよかった…100%」「学習内容を理解することができた…95%」と高い水準となった。 ● 「先生に丁寧に教えてもらえるので、良かった」「学校では中々先生へ質問できないが、この教室ではちょっと分からない時でも気軽に聞けるので良い」「家よりも集中して学習できる」などという感想があったことから、参加生徒にとって満足度は高いと考える。 ● 参加生徒の保護者から、「前よりも勉強へ対して前向きになった」「無料で勉強を教えてもらえるので、金銭的にありがたい」というお話をいただいた。

神川町基本情報

中学校数	1校	実施教室数	1教室
対象学校	1校	対象学年	3学年
平均開催日数	40日	参加人数 (1日平均)	10人
活動場所	町施設（就業改善センター）	コーディネーター数	1人
ボランティア数	4人	ボランティアの属性	教員OB 教員志望大学生



〔目標に向けて学習する生徒〕



〔指導者の指導を受けて学習〕

中学生学力アップ教室・北部地区

上里町・学力アップ教室

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内の中学校3年生を対象。7月から2月にかけて、週2～3回、放課後の2時間程度、上里町立図書館で学習支援を実施。 ● 5教科を中心に、生徒が学習する内容を自身で決定し、教材を持参する。学校の宿題や学習に関する予習や復習を行い、分からないところについては、学習支援員に質問をする。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 町の中央に位置する上里町立図書館にて実施することで、生徒が参加しやすい環境を整えた。 ● 参加する生徒の保護者に対して、保護者説明会を実施。緊急時の連絡方法や実施に当たっての注意事項を丁寧に説明を行った。 ● 教室を開催する前に必ず、生徒の様子や指導方法の確認等のため、コーディネーターと学習支援員で打合せを行い、支援内容に差が出ないようにした。 ● 「自ら学習に取り組める力を育てること」をベースとし、各自で取り組み、分からないところを自分から聞ける態度を養うようにし、学習方法を学ばせ「これが分かった」と実感できるような支援を行った。 ● 各自が勉強したい教材を持参させて、個に対応した支援を行った。 ● 4人で1グループを作り、生徒同士でも教え合う環境をつくり、学習への一体感を高めることができた。 ● 学習するにあたり、机の準備や片付けを参加生徒が積極的に動き、自主性を高めた。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 「上里町中学生学力アップ教室」9年目となり、生徒・保護者の事業への認知度と有効性の認識が高まった。また、学校の理解も深まり、教職員と連携・協力することができ、活動を支援いただくことも増加した。 ● 分からないところを互いに聴き合い、主体的に学習を進める力がついた。 ● 保護者アンケートから、学力アップ教室に参加した生徒の約9割が学習への意欲が高まったと答えている。

上里町基本情報

中学校数	2校	実施教室数	1教室
対象学校	2校	対象学年	3学年
平均開催日数	59日	参加人数 (1日平均)	34人
活動場所	上里町立図書館	コーディネーター数	1人
ボランティア数	14人	ボランティアの属性	教員OB 大学生



落ち着いて学習に励む姿



生徒同士で教え合う姿

中学生学カアップ教室・北部地区

寄居町・「より・E土曜塾」

<p>活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 中学生の学力を向上させ、希望する進路を実現させたいという強い思いから開設している寄居町独自の取組である。 ● 年間40回の講座を実施している。 ● 内容は、中間対策講座、進路対策講座、英検対策講座、独自の実力テストと充実している。 ● 中間対策講座では、生徒の希望する教科について、各中学校の出題範囲や生徒の習熟度に応じて、少人数指導を行った。
<p>実施にあたっての工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 昨年度より、全ての生徒が参加しやすいよう、集合型の授業に加え、家庭でも受講できるオンライン型の授業と、都合のよい時間に視聴できるオンデマンド型の授業を組み合わせたハイブリッド形式で展開している。 ● 感染症の拡大等により自宅療養中の生徒がオンライン授業で参加したり、部活動や家庭の都合等で参加できなかった生徒がオンデマンド配信を視聴したりと、柔軟に対応している。 ● 長期休業中にタブレットを持ち帰らせ、オンデマンド授業を視聴しレポートを書かせている学校もあり、家庭学習の充実にも活用している。 ● 参加生徒の募集や、実力テストの後日受検など、町教委と学校とで連携して取り組んでいる。
<p>事業を実施しての成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加した生徒からは「質問するとわかるまで教えてくれたので、成績が上がった。」「楽しいし、よく分かるから続けたい。」「志望校に無事に合格出来た。」、保護者からは「無料の学習支援に、本当に感謝している。」等の声が寄せられた。 ● 独自の実力テストで効果を測定したところ、5教科合計点の各生徒の平均が目標値を達成するなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得が進んだ（目標：260点、実績：287.7点）。

寄居町基本情報

<p>中学校数</p>	<p>3校</p>	<p>実施教室数</p>	<p>1教室 (午前3回、 午後3回)</p>
<p>対象学校</p>	<p>3校</p>	<p>対象学年</p>	<p>1～3学年</p>
<p>平均開催日数</p>	<p>40日</p>	<p>参加人数 (1日平均)</p>	<p>60人</p>
<p>活動場所</p>	<p>寄居町役場 会議室</p>	<p>コーディネーター数</p>	<p>1人</p>
<p>ボランティア数</p>	<p>16人</p>	<p>ボランティアの属性</p>	<p>外部講師</p>



〔対面型授業の様子〕



〔英検対策講座の様子〕